TOKAI RIKA

PRESS RELEASE

2006 年 4 月 10 日

株式会社 東海理化

（登記社名：株式会社 東海理化電機製作所）

ゼロ・エミッションを目的とした回転式乾留装置を共同開発して導入

株式会社東海理化（愛知県丹羽郡大口町、取締役社長：木下 潔）は、産業廃棄物循環型システムの構築を目指して、株式会社北日本テクノス（石川県小松市、代表取締役社長：田中 稔）と共同で回転式乾留装置を開発し、販売窓口である豊田通商株式会社（愛知県名古屋市、取締役社長：清水順三）の協力のもと、自社本社工場に導入しました。

この回転式乾留装置は、今までリサイクル処理が困難で埋め立て処理を行なっていた樹脂と金属の複合品を、油・金属・炭（再度処理して活性炭など）に分解処理し、投入量の約９９％をリサイクル可能にするものです。　炉を横型回転式とすることにより装置の小型化を図り、且つ短時間で効率的な一連の処理作業ができ、環境保全の推進と資源の有効利用に大きな効果が期待されます。

当社は以前から産業廃棄物の３Ｒ（Reduce, Reuse, Recycle）活動により埋め立て処理のゼロ・エミッション化を推進してまいりました。　本システムを導入し、さらに国内外のグループ会社にも広く展開することにより、グループ全体でのゼロエミに対する取組みを一層強化してまいります。

＜装置の概要＞

１．　導入装置名
　　回転式乾留装置

２．　最大処理能力
　　６０ｋｇ／日

３．　今後の導入計画

　　０６年４月～　　本社工場内装置の稼動
　　０７年１月～　　当社他工場に展開
　　０７年１２月～　関連会社への展開

４．　低減目標
　　１９９５年度の埋立て廃棄物の量を１００として、その９９．５％減を２０１０年度末までに達成する。

以上

◆本件に関するお問い合わせ先
　総務部広報室　℡：０５８７－９５－８１９２